
何泊何時か、白地図の旅

春野 宵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何泊何時か、白地図の旅

【Nコード】

N9074D

【作者名】

春野 宵

【あらすじ】

真つ白な地図の上をただ明後日の方向に向かって旅していく僕。目指すべき所は何処にあるのか、旅先で出会った人達に気付かされながら。

プロローグ

プロローグ

もとはといえば、僕が人よりちょっと寄り道が好きだけで、というかただ方向音痴なだけなんだ。

いや、地図は読めるよ？ちゃんと目的地の場所がわかってればね。たださ、僕がもつた地図って真っ白なんだよ。何にも書いてないんだ。ただ碁盤の目みたいに横から縦から線が引いてあるだけでさ。コンパスだってもってなかったんだ。

そりゃあ旅って言っても無理があるよね。だから放浪って言ったほうが正しいかな。

それでさ、僕はその白地図の上を右往左往してたんだ。後になつてみればそのときに色々面白いこともあってね、その時はなんの気なしに過ごしてた事も後になれば良い思い出つてことさ。

今考えてみればそのときに出会った人とかが結構心に残る人たちでさ、ぶらぶら旅してる僕を面白いと思つたのか興味を持ったのか知らないけど、色々親切に道を教えてくれたりもしたわけなんだ。

僕がこの話をしようと思つたのもその時に会った人たちが心に残つててね、今こうして一旦旅を終えてほっと一息ついてるときに浮かんでくるんだ。なんて言つたつて、どこへ行くこうかどこへ行けば良いのか分からない僕に道を教えてくれたり、親切にしてくれたんだからね。僕は結構そういう事を忘れないで覚えておく性質タチなんだ。

だから今僕はこうやって旅・・・っていうか放浪してたところを白地図にマーキングして、そのときの事をまとめてるんだ。

あ、そういえばまだ僕の事を全然はなしてなかったね。僕の名前は夏希って言うんだ。でもそんなのどうだって良い事なんだ。だっ

て旅してた時も人から呼ばれる名前はばらばらだったからね。苗字が有名人に似ているっていうだけの理由でアオイとかさ。自分でも誰の事を言ってるのか良く分からない時があった位だよ。だから僕の名前を知っててもあまり意味はないと思うな。実際、夏樹って呼んでたの一人だけだもんね。

で、年は十九。でもタバコ吸ったりお酒飲んだりとかしてたから建前ではハタチって言ってたほうがいいかな。

経歴とかも別に大したことはないんだ。しいて言えば高校は中退したな・・・半年か一年しない位で。なんていうか、つまらなかつたんだよね。同級生も面白いやつ居なかったし。まあそんな感じだよ、僕の経歴は。必要だったら追々話すからさ。

・・・で、どこから話せば良いんだ？まあ、旅を始めたところから話せばいいんだろうけども、君だっていきなりこの状況で話を始められても困るだろう？なんで旅してんのか、ちゃんとした地図買ったらいいじゃないかとか。拳げ始めたらきりが無いよね。

けどそんなの人生とは旅だとか言っちゃう人とか、行き先を決めない旅のほうが楽しいって思う人がいるのと同じで僕もそれに似たところがあるんだ。

そんな適当な理由で納得するとは思ってないけど、とにかく僕は目的地の場所が書かれてない白地図をもって旅してたのさ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9074d/>

何泊何時か、白地図の旅

2010年10月10日23時57分発行